



いおぎ

だより

令和7年10月号 杉並区立井荻小学校

令和7年9月30日発行 No.698

こうべをたれる稻穂かな

副校長 佐々木 克典

9月21日には、学校支援本部主催「十日町に稻刈りに行こう」という企画で新潟県十日町に行ってきました。今年で第30回を数える伝統ある企画です。希望者を募り、井荻小の子どもたちや保護者の方とも、こしひかりという品種のお米の収穫体験をしました。十日町から車で30分程の所で、山間に広がるいくつもの棚田が広がっており、無数の稻穂がありました。

「実るほどにこうべをたれる稻穂かな」

稻穂は、実っていくほどに、米の重さで自然に穂先が下がっていきます。まだ実っていない若い稻穂は、ピンと上を向いたままで。

私は、このことを通して、翌日の全校朝会で子どもたちに話しました。

「本当に立派な人ほど、優しく、親切でいられる」と。

学校で言えば、勉強ができたり、運動が得意だったり、絵が上手だったりすると、ちょっと自慢したくなるときがあるかもしれません。

でも、本当にすごい人とは、友達を助けたり、相手の気持ちを考えたりして、優しく振る舞える人なのだと。

2学期は、1年間の中で最も長い学期です。日々の学校生活の中で、自分の力を出すだけでなく、周りの人とのことを考えて優しくできるかどうかも、大切なことです。

子どもたち一人ひとりが「実った稻の穂」のように、しなやかで、優しさを伝えることができると、さらに学校全体がより温かい場所になるとを考えます。

☆富士移動教室に行ってきました

9月10日から12日までの2泊3日間、5年生は富士移動教室に行ってきました。子ども達は「5分前行動」を心がけ、時間にゆとりをもって行動する姿が印象的でした。1日目のキャンプファイヤーは雨のため室内での実施となりましたが、歌やゲームで大いに盛り上がり、学年の絆を深めることができました。活動の中では、友達を思いやる言葉や前向きな声かけが多く聞こえ、お互いを支え合う姿が見られました。一方で、うまくいかなかったことやもっとできたと感じたこともあります。こうした経験も含め、この移動教室で学んだことを今後の学校生活にいかしてほしいと思います。



10月の生活目標



「あいさつ名人 発言名人になろう」



生活指導部 小澤 拓哉

井荻小学校では、年間を通して「あいさつ」を大切にしています。「こんにちは」「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」など、あいさつは短い言葉で人の心を繋ぐことができる魔法の言葉です。あいさつをすることは特別なことではなく、日常の中の『あたりまえ』のひとつになってほしいと願い、日々指導しています。ご家庭でも、日々のあいさつを大切にし、気持ちよく人間関係を築いていく手助けをお願いいたします。

専科の窓（給食）

栄養士 石井明美

9月10日（水）に給食試食会が行われました。PTAの学級部のみなさまのご協力のもと、40名以上の保護者の方にご参加いただき、試食とともに井荻小の給食について、お話をさせていただきました。この日、頂いたご質問には給食だよりでお答えするほか、保護者会等でも話題にしていきます。給食は何よりも安全・安心を第一に考え作っていますが、これからも「給食が楽しみ！」と言ってもらえるよう、季節感のあるおいしい給食作りに努めてまいります。ホームページ（給食の産地公開）にも毎日の給食写真の掲載を心がけていますので、ご家庭でも、「今日の給食」を話題にしていただければと思います。